



## ジェネリック医薬品のススメ

医療用医薬品は、大きく分けると、新薬(先発医薬品)とジェネリック医薬品(後発医薬品)に分けられます。

新薬は、10～15年もの歳月と莫大な費用をかけて開発されるので、新薬を開発した製薬会社は、特許により20～25年間その薬を独占的に製造・販売する権利が与えられます。

一方、ジェネリック医薬品は、最近、テレビ・新聞等によく見かけるもので、ご存じの方も多いと思いますが、新薬と同じ有効成分を使った薬であり、新薬の特許期間が過ぎると、他社から製造・販売することができます。

ジェネリック医薬品は、新薬と同様に、厚生労働省の承認を受け、国の基準、法律に基づいて製造・販売しています。

## ジェネリック医薬品 Q&A

### Q1、新薬とジェネリック医薬品は、効き目は同じなの？



ジェネリック医薬品が、製造・販売されるには、厚生労働省の承認が条件となっています。承認をもらうためには、いくつかの試験に合格する必要があります。主な試験には、「生物学的同等性試験」という試験があり、新薬と同じスピードで同じ量の有効成分が体に取り込まれるかの試験などに合格する必要があります。これらの試験に合格すると、新薬と効き目が同じであると実証されることになります。

このようにジェネリック医薬品は、厚生労働省により厳しい品質基準で承認され、さらに、新薬と同様に薬事法によって製造管理や品質管理を厳しくチェックされています。

### Q2、ジェネリック医薬品の副作用は？



有効成分が同じであれば、新薬で起こった副作用はジェネリック医薬品でも起こる可能性があるのは事実です。

また、お薬を作るときに必要な添加物に関しては新薬とジェネリック医薬品とで異なる事がありますので、添加物によってもアレルギー反応や副作用を起こす可能性もあるかもしれません。

## ジェネリック医薬品を使うメリット

### ◆患者さんの経済的負担軽減

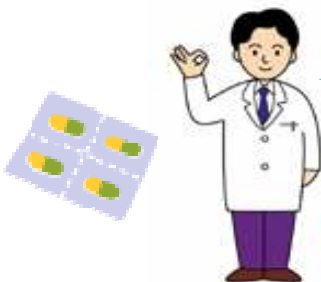
### ◆医療費削減

ジェネリック医薬品の開発期間は新薬に比べ非常に短く、開発費も少なくすむため、お薬の値段が新薬よりも安くなります。

ジェネリック医薬品は患者さんのお薬代の負担を軽減することができます。

## ジェネリック医薬品をお使いになる前に

- すべての新薬にジェネリック医薬品があるわけではありませんので、飲んでいるお薬にジェネリック医薬品があるかどうかについては、かかりつけの医師・薬剤師にご相談ください。
- 希望するジェネリック医薬品が薬局に置いてない場合があります。その場合は、お取り寄せになるため少々お時間を頂く場合がございますので、予めご了承ください。
- ジェネリック医薬品に変えることにより、窓口での負担額は安くなりますが、どのくらい安くなるかは、お時間を頂ければ調べることができますので、ご相談ください。



ご不明な点などございましたら、  
ふたば薬局のスタッフにご相談  
ください。

